

文部科学省選定

私立大学学術研究高度化推進事業 平成13年度学術フロンティア
歯科先端材料・先進技法による口腔機能の再構築

市民公開講座

ご存知ですか？ 先進歯科医療

1. 特別講演 人体を再生する

東京大学医科学研究所
名古屋大学大学院

上田 実 教授

2. 特別講演 「私と柔道」二つの銀メダル

オリンピックメダリスト
日本大学法学部

田邊陽子 講師

3. 一般講演 最先端の歯科医療

日本大学松戸歯学部 歯科病院

- | | | |
|-------------------|------|----|
| 1) 小児歯科におけるレーザー治療 | 前田隆秀 | 教授 |
| 2) むし歯の予防と治療の最前線 | 池見宅司 | 教授 |
| 3) 骨再生による歯周病治療 | 小方頼昌 | 教授 |
| 4) ロボットによる白い歯の製作 | 會田雅啓 | 教授 |

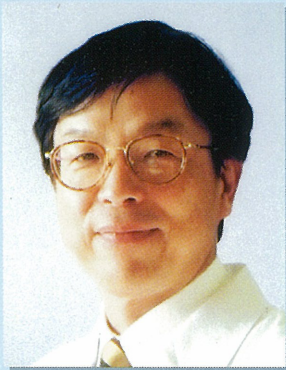
●日時／平成16年5月15日(土) 午後1時～4時

●会場／松戸市民劇場 松戸駅西口から直進 徒歩2分

●入場／無 料

生涯研修カード受付 | 連絡先：電話 047-360-9274 日本大学松戸歯学部 研究事務課
E-mail : kenkyuj@ml.mascat.nihon-u.ac.jp

主催 日本大学 松戸歯学部 口腔科学研究所
共催 日本大学 口腔科学会
後援 松戸市教育委員会、千葉県歯科医師会



「人体を再生する」

東京大学医科学研究所
名古屋大学大学院医学系研究科
頭頸部・感覚器外科学講座

教授 上田 実

再生医療の先導役として期待の集まる歯科分野。歯周病の患者に対し幹細胞を利用した歯槽骨再生や、歯そのものを再生させる試みが再生医療ビジネスとして始まろうとしている。

【講演概要】

再生医療では体の中で休眠している若い細胞である「幹細胞(かんさいぼう)」を培養して人体を再生します。すでに骨、軟骨、皮膚は現実の医療になり、やがては脳や歯も再生できるようになるでしょう。講演では再生医療の原理をわかりやすく解説し、みなさんに夢の人体再生技術をご紹介します。

【略歴】

- 1982年 名古屋大学大学院医学研究科修了
- 1989年 名古屋大学医学部附属病院講師(歯科口腔外科)
- 1990年 外国留学(イエテボリ大学・チューリッヒ大学)
- 1994年 名古屋大学医学部教授(口腔外科学講座)
- 1999年 名古屋大学大学院医学系研究科
頭頸部・感覚器外科学講座教授
- 2003年 東京大学医科学研究所教授(併任) 幹細胞組織医工学

幹細胞組織医工学・歯胚再生学

Tissue Engineeringは生物本来の恒常性維持機構の一つである再生修復を引き出すことで、各種臓器(組織)欠損や機能不全を治療する試みです。具体的にはヒト正常組織より細胞を分離し、これらを細胞の足場となる各種細胞外マトリックスとともに培養・増殖し、より高性能な人工臓器および人工組織を構築することを目的とし、ヒト正常細胞の大量培養方法の確立や、人工臓器作製および移植に用いる細胞外マトリックスの構築、さらには移植方法の提案を研究の範囲とします。

このような研究を通じて、新しい人工臓器および人工組織を開発し、次世紀の移植医療に貢献したいと考えています。

現在までにヒト正常口腔粘膜細胞を用いて培養粘膜上皮を作製し、種々の原因にて生じた粘膜欠損部に対し移植を行うことを目的として研究を行ってきました。さらにこれらを応用し、骨、軟骨、角膜、末梢神経を対象に、人工組織の開発を行っています。これらのほとんどはすでに動物実験においては完成段階に入っており、臨床応用直前といえます。



「私と柔道」二つの銀メダル

日本大学 法学部 体育実技

柔道5段
講師 田邊陽子

都立駒場高校時代は陸上競技部に所属、やり投げでインターハイ第8位など陸上選手として活躍。高校3年生の体育の授業で選択した柔道の魅力に心が傾き、日本大学に進学、本格的に柔道を始める。

以後、並外れた体力とセンスの良さでぐんぐんと実力をつけ、日本女子柔道界の「女王」として君臨。バルセロナオリンピックでは、銀メダルを獲得した。さらに、アトランタオリンピックでは、再び銀メダルを獲得し、2期連続銀メダリストの偉業を達成した。

<主な試合戦績>

- 1988年 ソウルオリンピック(公開競技) 銅メダル
- 1992年 バルセロナオリンピック銀メダル
- 1996年 アトランタオリンピック銀メダル
- 1987年 世界選手権(エッセン) 3位
- 1989年 世界選手権(ベオグラード) 2位、(無差別) 3位
- 1991年 世界選手権(バルセロナ) 2位
- 1995年 世界選手権(幕張) 3位
- 1987~1992年 全日本女子柔道選手権大会 6連覇
- 1986~1992年 全日本女子体重別柔道選手権大会 7連覇
- 1989~1990年 フランス国際柔道大会 2連覇
- 1988~1991年 福岡国際女子柔道選手権大会 4連覇

<現在の活動>

アトランタオリンピック後、(財)日本オリンピック委員会・在外研修員としてイギリスに留学し、イギリス柔道での強化策及び環境について一年間の研修を行なった。

現在は日本大学柔道部女子監督として後進の指導にあたり、また日本大学法学部専任講師として教鞭をとっている。

<役員>

- (財)日本オリンピック委員会 アスリート委員会委員/1999年~現在
- (財)日本オリンピック委員会 女性スポーツ委員会委員/2003年~現在
- (財)日本オリンピック委員会 アンチドーピング委員会委員/2003年~現在
- (財)全日本柔道連盟 教育普及委員会委員/2000年~現在
- (財)日本アンチ・ドーピング機構委員会理事/2001年~現在

<表彰>

- 1992年/1996年 文部省スポーツ功労賞受賞

公開講座の開催にあたって

日本大学松戸歯学部
学部長 教授 大竹繁雄

保健医療分野において、社会に貢献する責務を担う松戸歯学部は、口腔領域を中心とした研究を推進し、健康の維持増進と活力ある社会の実現に寄与していくことを大きな目標としているところであります。

本学の「歯科先端材料・先進技法による口腔機能の再構築」とした研究プロジェクトが平成13年度の文部科学省の学術フロンティア推進拠点に選定され、順調に研究が進められてきました。昨年9月に「研究成果中間報告書」を刊行し、今日ここに市民公開講座を開催できることは、喜びであるとともに研究成果が高度先進的な医療として近い将来、患者様の治療に生かせるであろうことを期待いたします。

一般講演

最先端の歯科医療

日本大学松戸歯学部 歯科病院

1) 小児歯科におけるレーザー治療

教授 前田 隆秀

小児期は8020運動の原点であり、高齢者の健康は子ども時代の口の健康がkeyとなります。小児期はむし歯・歯周病の予防、あるいは口腔疾患の早期発見で簡単に健康状態に戻せる絶好の時期です。早期治療には子どもが嫌がる注射をしないレーザー治療が進歩しています。

2) むし歯の予防と治療の最前線

教授 池見 宅司

むし歯になると、口もとや口臭が気になる、歯が痛くて仕事にならない、何度も通院しなければならないなど日常生活に支障をきたします。半年に一度の通院で40分程度の処置、あとはホームケアでむし歯を予防する方法を紹介いたします。また、注射なしで痛くなく、高音を発することなく歯を削る方法も。

3) 骨再生による歯周病治療

教授 小方 頼昌

歯周病になると、歯肉が腫れ、顎の骨が吸収して歯が動揺し、食事が困難になったり、見た目が悪くなります。昔であれば抜いて義歯にするような歯であっても、最近では組織再生誘導法を用いて顎の骨を再生できる技術が進歩しています。その概要をお話したいと思います。

4) ロボットによる白い歯の製作

教授 會田 雅啓

むし歯治療時の詰め物や被せ物の材料として、金属が使用されていますが、審美性や金属アレルギーが問題となっています。金属に替わる材料として利用されている陶材や樹脂は製法が複雑です。今回はこれらの材料を用いたロボットによる簡便な製法を紹介いたします。

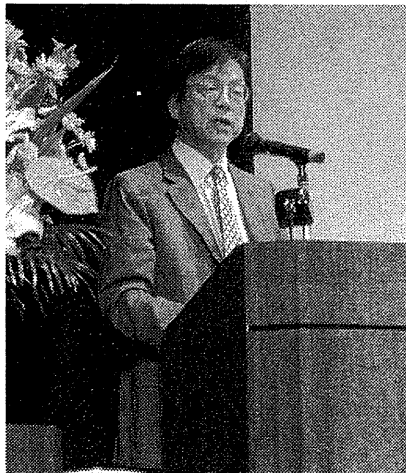
最新の歯科治療を紹介

日大松戸歯学部が市民講座

日本大学松戸歯学部(大竹繁雄学部長)はこれほど、最先端の歯科医療を紹介する市民公開講座を松戸市の松戸市民劇場で開いた。

特別講演と一般講演からなる同講座には、約百四十人が参加し、歯科医療やスポーツの専門家らの話に熱心に耳を傾けた。

特別講演では、東京大学や名古屋大学で再生医療を研究する上田実教授が、皮膚(ふ)など人体



講演中の上田実教授

組織の再生能力を持つ「幹細胞」を用いた歯科医療を紹介。歯を支える骨を再生する技術などを写真や映像で分かりやすく

解説した。続いて、元女子柔道銀メダリストで現日本大学法学部講師の田邊陽子氏が、オリンピックの舞台

裏や選手の健康づくりなど身近な話題で聴衆の関心をひきつけた。

一般講演では、松戸歯学部歯科病院から四人の教授陣がそれぞれの医療事例を紹介。前田隆秀教授は子どもの患者に痛みや恐怖心を与えないレーザーによる治療法、池見宅司教授は、専門家によるブラッシングと抗菌剤の使用による有効な虫歯予防法を紹介した。また、小方頼昌教授は骨再生による歯周病の治療事例を、會田雅啓教授は歯の詰め物やかぶせ物をコンピュータとロボットを用いてより迅速に行う事例などを紹介した。

2004年5月15日(土) 市民公開講座



講演者 上田 実教授



講演者 田邊陽子講師



講演者 前田隆秀教授



講演者 池見宅司教授



講演者 小方頼昌教授



講演者 會田雅啓教授



学部長 大竹繁雄教授



所 長 笹原廣重教授